

平成30年度 第68回中信地区中学校陸上競技大会 競技日程

平成30年6月2日(土) 松本平広域公園陸上競技場

開門6:45 受付7:20 審判主任会議7:30 審判監督会議7:45 競技場練習終了8:00 開始式8:10 競技開始8:50

【トラック競技】

	学年	性別	種目	ラウンド	組数	着	人数	招集開始時刻	招集完了時刻	競技開始時刻	プログラムP
1	共通	男	400m	予	3	タイムレース8	27	8:20	8:30	8:50	10
2	共通	女	四種 100mH	決	1		7	8:40	8:50	9:10	40
3	共通	女	100mH	予	4	タイムレース8	28	8:45	8:55	9:15	31
4	共通	男	四種 110mH	決	1		5	9:05	9:15	9:35	24
5	共通	男	110mH	予	2	タイムレース8	18	9:10	9:20	9:40	15
6	共通	女	200m	予	5	タイムレース8	42	9:20	9:30	9:50	28
7	共通	男	200m	予	3	タイムレース8	26	9:40	9:50	10:10	9
8	1	女	100m	予	5	タイムレース8	44	9:55	10:05	10:25	25
9	2	女	100m	予	4	タイムレース8	35	10:10	10:20	10:40	26
10	3	女	100m	予	3	タイムレース8	27	10:25	10:35	10:55	27
11	1	男	100m	予	6	タイムレース8	46	10:35	10:45	11:05	6
12	2	男	100m	予	5	タイムレース8	41	10:55	11:05	11:25	7
13	3	男	100m	予	4	タイムレース8	28	11:10	11:20	11:40	8
14	共通	男	3000m	決	1		26	11:25	11:35	11:55	14
15	1,2	女	4×100mR	予	3	タイムレース8	20	11:45	11:55	12:15	32,33
16	共通	女	4×100mR	予	3	タイムレース8	25	12:00	12:10	12:30	34,35
17	共通	男	4×100mR	予	3	タイムレース8	25	12:15	12:25	12:45	18,19
18	1,2	男	4×100mR	予	3	タイムレース8	22	12:30	12:40	13:00	16,17
19	共通	女	1500m	決	2	2組タイムレース	43	12:45	12:55	13:15	30
20	2,3	男	1500m	決	2	2組タイムレース	38	13:00	13:10	13:30	13
21	1	男	1500m	決	2	2組タイムレース	27	13:15	13:25	13:45	12
22	共通	女	200m	決	1		8	13:35	13:45	14:05	28
23	共通	男	200m	決	1		8	13:40	13:50	14:10	9
24	共通	男	400m	決	1		8	13:45	13:55	14:15	10
25	共通	男	110mH	決	1		8	13:55	14:05	14:25	15
26	共通	女	100mH	決	1		8	14:05	14:15	14:35	31
27	1	女	100m	決	1		8	14:15	14:25	14:45	25
28	1	男	100m	決	1		8	14:20	14:30	14:50	6
29	2	女	100m	決	1		8	14:25	14:35	14:55	26
30	2	男	100m	決	1		8	14:30	14:40	15:00	7
31	3	女	100m	決	1		8	14:35	14:45	15:05	27
32	3	男	100m	決	1		8	14:40	14:50	15:10	8
33	共通	女	四種 200m	決	1		7	14:45	14:55	15:15	40
34	共通	男	四種 400m	決	1		5	14:55	15:05	15:25	24
35	共通	女	800m	決	6	6組タイムレース	56	15:00	15:10	15:30	29
36	共通	男	800m	決	4	4組タイムレース	36	15:40	15:50	16:10	11
37	1,2	女	4×100mR	決	1		8	16:05	16:15	16:35	33
38	1,2	男	4×100mR	決	1		8	16:10	16:20	16:40	17
39	共通	女	4×100mR	決	1		8	16:15	16:25	16:45	35
40	共通	男	4×100mR	決	1		8	16:20	16:30	16:50	19

【フィールド競技】

	学年	性別	種目	ラウンド	ピット	人数	招集開始時刻	招集完了時刻	競技開始時刻	プログラムP
1	2,3	男	走幅跳	決	A	35	8:20	8:30	9:00	22
2	共通	男	棒高跳	決		4	8:25	8:35	9:05	20
	共通	女	棒高跳	決		6	8:25	8:35	9:05	36
3	共通	女	砲丸投	決		30	8:40	8:50	9:20	39
4	共通	男	走高跳	決	B	12	8:45	8:55	9:25	20
5	1	女	走幅跳	決	B	28	8:50	9:00	9:30	37
6	共通	女	四種 走高跳	決	A	7	9:50	10:00	10:30	40
7	共通	男	四種 砲丸投	決		5	10:20	10:30	11:00	24
8	共通	男	四種 走高跳	決	B	5	12:40	12:50	13:20	24
9	共通	女	四種 砲丸投	決		7	12:55	13:05	13:35	40
	2,3	女	走幅跳	決	A	40	12:55	13:05	13:35	38
10	共通	女	走高跳	決	C	28	13:00	13:10	13:40	36
11	1	男	走幅跳	決	B	31	13:20	13:30	14:00	21
12	共通	男	砲丸投	決		24	13:50	14:00	14:30	23

参加校並びに参加人員

地区	番号	学校名	男	女	計	プロの注文	地区	番号	学校名	男	女	計	プロの注文	地区	番号	学校名	男	女	計	プロの注文	
大北	1	大町第一	10	8	18	18	塩 筑	17	筑北	3	2	5	5	松 本	33	筑摩野	6	20	26	26	
	2	仁科台	20	12	32	32		18	上松	1	0	1	1		34	女鳥羽	9	14	23	23	
	3	高瀬	4	5	9	9		木 曾	19	木祖	2	0	2		2	35	鉢盛	15	22	37	37
	4	北安松川	18	12	30	30			20	木曾町	20	9	29		29	36	附属松本	24	20	44	44
	5	白馬	8	12	20	20			21	開田	0	1	1		1	37	信明	4	10	14	14
	6	小谷	3	7	10	10			22	王滝	5	3	8		8	38	梓川	21	13	34	34
安曇野	7	穂高東	13	16	29	29	23		大桑	4	2	6	6		39	大野川	0	1	1	1	
	8	穂高西	9	19	28	28	松 本		24	清水	20	10	30		30	40	波田	19	11	30	30
	9	豊科北	11	12	23	23		25	鎌田	6	3	9	9		41	秀峰	2	7	9	9	
	10	豊科南	0	6	6	6		26	丸ノ内	13	13	26	26		42	才教学園	1	0	1	1	
	11	堀金	20	14	34	34		27	旭町	3	9	12	12								
	12	三郷	18	19	37	37		28	松島	9	12	21	21								
	13	明科	1	0	1	1		29	開成	17	13	30	30								
塩 筑	14	塩尻	14	6	20	20		30	山辺	13	25	38	38								
	15	丘	18	9	27	27	31	高綱	14	16	30	30									
	16	塩尻広陵	20	22	42	42	32	菅野	19	15	34	34									

参加校
男子 39校
女子 38校

参加人員
男子 437名
女子 430名
合計 867名

競技上の注意

- (1) 本大会では、日本陸連競技規則第162条5(C)「スタートにおける警告」に関する2018年度改正ルールを適用する。
- (2) トラック競技予選のレーン順及びフィールド競技の試技順序はプログラム記載の上段から下段へ、以下順に右へ移る。なお、トラック競技決勝のレーン順は公正抽選の上決定し、掲示板に貼る。
- (3) 四種競技では、ハードル競技は太線ワクごとの組とし、記載のレーンとする。フィールド競技は記載の順番とする。なお、最終競技のレーンは、三種目終了時点の得点により番組編成し決定したものを掲示板に貼る。
- (4) 招集は各競技開始時刻の、トラック競技は20分前、フィールド競技(棒高跳も)は30分前に完了する。点呼に遅れたものは欠場とみなして出場を認めない。招集所は100mスタート横の倉庫内に設ける。なお四種競技は最初の種目と最後の種目のみ招集所で行い、他の種目は招集完了時刻までに直接競技場所へ集合する。
- (5) トラック競技の予選はタイムレースとし、決勝進出該当者が8名を超えた場合は日本陸連競技規則第167条(ルールブック2018年度版p.231記載)を適用する。
- (6) 800m、1500m はタイムレース決勝とする。
- (7) 800m、1500m、3000m は腰ナンバーカードを使用するので、招集を受ける前に、招集所の競技者係より、プログラム記載の通し番号(レーン番号)を受け取り、右腰やや後方につける。3000mは腰ナンバーカードと同番号のナンバーカードをユニフォームの背と胸につける。
- (8) 走高跳及び棒高跳のバーのあげ方は次の通りとする。
 - <共通走高跳> 男子1.35 1.40 ……1.65 1.68 ……以後3 cmずつ
女子1.20 1.25 ……1.45 1.48 ……以後3 cmずつ
1位決定のためのバーの上げ下げは2 cmとする。
 - <共通棒高跳> 男子2.00 2.20 2.40 ……以後10 cmずつ
女子1.60 1.80 2.00 ……以後10 cmずつ
1位決定のためのバーの上げ下げは5 cmとする。
 - <四種走高跳> 男子1.30 1.35 ……1.60 1.63 ……以後3 cmずつ
女子1.15 1.20 ……1.35 1.38 ……以後3 cmずつ
- (9) 全天候走路使用のため9 mm以下のスパイクピンを使用する。なお走高跳は12 mmまで使用できる。
- (10) 不正スタートについて
 - 単独種目では、不正スタートは1回目より失格とする。
 - 混成種目では、不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。
- (11) リレーは、2018年度ルール改正によりテイクオーバーゾーンは30mとする。
- (12) リレー時に使用するマーカーは各校で用意する(5cm×40cm以内で各一カ所のみ使用可)。
 - レース後は各チームで責任をもって回収する。
 - (例：第1走者は第2走者のマーカーを回収する)。
- (13) リレーオーダー用紙は招集完了1時間前までに競技者係へ提出する。用紙はプログラム末尾のものを利用し、予選・決勝ともにリレーオーダー変更の有無にかかわらず提出する。提出のない場合は欠場とみなす。
- (14) 応援などは、スタンドまたは芝生スタンドに限る。競技場内それ以外の場所では行わない。助力とみられ失格になる場合がある。また、スタンド最前列での応援も、他競技の進行に支障がある場合は禁止する(特に走幅跳の競技中)。メインスタンドでの集合応援は禁止する。
- (15) 日程がつかまっているので予定時刻に開始できるように行動する。また、予定時刻より早めて競技を開始することもあり得るのでアナウンサーからの放送を注意して聞く。
- (16) 各種目8位までに賞状を授与する。
- (17) 各種目8位までの入賞者は県中学総体への出場権を得る。該当選手の中で県総体辞退者がいた場合は繰り上げ出場を認める場合がある。県総体への出場を辞退する場合は、速やかに専門委員長望月(三郷中学校)へ連絡する。
- (18) 県中学総体の申込は、6月12日(火)までに行う(県中学総体申込要項による)。
- (19) ゴミは各自で持ち帰る。

※重要

開始式では、選手の整列がありません。開始式の時間になりましたら各校の座席にてご参加ください。（アップがある選手は、アップの時間に合わせて移動してください。）その際、静粛に式が進むよう、各校の協力をよろしくお願いします。

1. プログラム記載のタイムテーブルによって競技を進行します。プログラム記載の競技注意事項及び本大会要項を熟読の上、選手に徹底させてください。特に下記については徹底をお願いします。

- (1) **招集について**：招集完了時刻をプログラムにて確認の上、遅れないように招集所（100mスタート横の倉庫内）に集まってください。（**招集に遅れた場合は出場できません**）。
なお、欠場する場合は、招集所にて競技者係に棄権することを報告してください。
 また、招集所を通らず、直接競技場所へ行ってしまふ選手がいます。**招集所を通らないと、欠場と見なされ出場できません**ので、必ず招集所でチェックを受けるよう、ご指導をお願いします。
 ※招集所からは、競技者係が競技場所まで誘導してくれるので、勝手に移動しない。また、本部席前は通行禁止なので、十分注意してください。
- (2) **個人種目とリレー種目の時間が重なった場合の招集について**
 - ① リレーに出場する選手が他の個人種目に出場する場合は、招集時にリレーと他種目の招集も済ませてください。
 - ② 個人種目に出ていて、リレー競技が始まった場合、当該競技の審判員に「リレーに行くのでお願いします」と伝え、リレー競技に行くようにさせてください。
 - ③ リレー出場のために失った試技の復活は認められません。特に走高跳、棒高跳と兼ねて出場している選手には、リレー出場まで「できる限り跳ばせる」ように徹底をお願いします。
- (3) **男女1500m以上のスタート方法について**：男女1500m以上の競走競技はオープンスタートですので、スタートの際は、接触に十分に気をつけて走らせてください。（800mはセパレート。1レーンに2人の場合もある。）
- (4) 800m・1500m・3000mについては競技開始時刻の1時間前に招集所で通しナンバーカードを受け取ります。通しナンバーカードを受け取ったことで招集完了とはならないので、招集も時間に遅れないように必ず行かせてください。（800m・1500mは腰のみ。3000mは胸と背と腰とする。）なお、レース終了後すぐに回収するので、持ち帰らないように気をつけてください。
- (5) **ナンバーカードの付け方について**
 - ① ナンバーカードは必ずそのままの大きさと胸及び背（走高跳、棒高跳、走幅跳は片側だけでよい）に結着させてください。（学校名やマーキングを見せるために四隅を折ることは、認められません。）
 - ② 大会当日のナンバーカード訂正は、印刷ミス（一覧表と違うもの）以外は認めません。プログラムのナンバーを布に書いて出場していただきます。（登録してもらったナンバーでプログラムを作成しているため）なお、布は受付にて一枚100円で販売しています。
- (6) **リレーオーダー用紙の提出について**
 - ① 例年競技会運営に支障を来す大きな原因となっています。**リレーオーダー用紙は、必ず予選、決勝とも招集完了1時間前までに、競技者係（招集所）へ提出してください。**
 - ② 1・2年4×100mリレーのオーダーは、「2年2名以内（全員1年だけでもよい）」とする。この規定に違反した場合は、失格になってしまうので、監督はくれぐれも確認の上サインをお願いします。
 - ③ **リレーのルール変更**で、テークオーバーゾーンは今年から30mとなりました。また、一度出したオーダーは、医務員の許可がない限り変更できません。また、オーダーについては、登録メンバーから2名以上、前のラウンドのメンバーからも2名以上が走れば、その他はプログラムに載っている選手であれば、どの選手を走らせてもよいとなっています。ただし、共通リレーと1・2年リレーを兼ねることはできません。その関係で、リレーメンバー以外の選手を走らせる場合は、オーダー用紙に、必要事項を書くようになっています。徹底をお願いします。
- (7) **不正スタートについては、1回で失格とします。また、今年からの新ルールで、審判員からの警告（スタートでのピクつき動作等）を一回受ければイエローカードが出されます。二度目の警告**

はレッドカードで、その場合、本競技会の以降のどの種目にも出場できなくなります。（本大会でも採用されます）

- (8) 横断幕は、スタンド最前列と芝生席前の手すりには張らず、スタンド中段の手すりとは芝生席後方の柵に張るようにしてください。
- (9) 出入口は、通常のゲートを利用してください。
- (10) トイレは、1階更衣室横のトイレ、スタンド内、公園内にトイレを利用してください。
- (11) ここ数年、置き引き、車上荒らしなどが頻発しています。各校各自、荷物・貴重品の管理は責任を持ってお願いします。
- (12) 最近、各大会において、不正な目的でカメラ撮影しているという報告があります。そのような疑いのある人を見たら、本部にすぐに連絡をください。
- (13) **上位8位までに入賞した選手は、県大会に出場できますので、6月12日（火）午後5時まで、エントリーファイルを長野陸協ホームページのエントリーセンターから送付し、職印を押印した申込書を三郷中学校 望月まで郵送して申し込みをしてください。（平成30年陸上競技大会要項確認（中体連陸上 HP または長野陸協 HP 記載））期日厳守でお願いします。**
なお、辞退する場合は、9位以下の選手が繰り上げする場合がありますため、6月11日（月）午後5時まで、望月（三郷中）まで連絡をお願いします。
- (14) スカイパーク内の各施設で、他競技が大会を行っています。その関係で、競技場前の駐車場の混雑が予想されます。駐車のマナーを守るように、監督・顧問からも保護者や関係者に連絡をお願いします。
 - ① 競技場に来る際に、できる限り、公共交通機関や相乗りで来るようにして下さい。
 - ② 競技場前には、白線で駐車スペースを作っておりますので、それ以外の場所には駐車しないで下さい。特に、正面階段横のスペースは、緊急車両の対応用に空けてありますので、お気をつけください。
- (15) 開場時間前に場所をとる行為が以前ありました。時間までは、整然と並び、時間になったらゆっくりと競技場内に入るようにして下さい。

* 今大会の記録は、長野陸上競技協会のホームページに掲載されます。

<http://www.nagano-rk.ocm/>（長野陸協）

2. サブトラックの利用について

- ※ サブトラックの規制を下記のように行います。あらかじめ、用具等は出しておきますので、徹底をお願いします。
- (1) トラックは、インコース（1～3レーン分）は中長距離、周回用の練習ゾーン、ホームストレート以外の4～7レーンはリレー練習、ホームストレートの4～7はスタートダッシュ用、8、9レーンはハードル練習用とします。（時間帯により変更あり）
- (2) アップのジョグは、芝生や外回りを利用してください。

3. 通信陸上競技大会申し込みについて（平成30年度陸上競技大会要項（県中体連陸上のホームページを参照））

大会要項をよく読み、不明な点は、岡谷市立岡谷東部中学校 山崎将文先生へ連絡をお願いします。
申込締め切り 6月25日（月）

4. ゴミについて

本大会においては、ごみは一切持ち帰りとなっております。過去に、自動販売機の横に空き缶、スタンドにはお弁当等のゴミが捨てられていました。スポーツにとってマナーはとても大切です。マナーを守り、全員が気持ちよく大会を終えることが出来るように、各校、選手・保護者に徹底して下さい。

その他

- 中信大会については、場所取り抽選を行いません。各ゲートに並んでいただき、6時45分になりましたら、係の指示で安全に入場をしてください。
- テントなどを設営する場合は、風対策をお願いします。

○第144条 競技者に対する助力

競技者間での禁止行為の追加。

⇒転倒後、立ち上がることを手助けすることは認められるが、前に進むための身体的手助けは禁止。

⇒繰り返し行われる競技者間での水・飲食物等の受渡し。(164条15、230条10、240条8)

許可される身体保護具類の追加。

⇒冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸補助具。指定場所で渡される(または審判長が認めた場合の)帽子、手袋、靴や衣類が追加された。

○第162条5 スタート時の不適切行為の扱いについて

不適切行為に関わる文言が追加 いわゆる“ピクつき動作”は警告の対象になる場合も。

⇒スタート時の不適切行為として、3つが示されている。(今回、下線部が追加された)

(a) 合図の後で正当な理由もなく手を挙げたり、クラウチングの姿勢から立ち上がったりする。

(b) 合図に従わない、遅れることなく速やかに最終の「用意」の位置につかない。

(c) 音声や動作その他の方法で、他の競技者を妨害した。

この場合、審判長は競技者に「警告(イエローカード)を与えることができる」としている。その競技会中に(他種目であっても)警告を2回受けた場合は失格となり、その競技会に出場予定の他種目についても出場できなくなる。

日本陸連主催・共催大会(IH、全中、JOを含む)以外の競技会については、主催者がこの条項を適用するか否かを決めることができる。適用しない場合は、スタート時の不適切行為の取り扱い方法が大会要項や競技注意事項に明記されるので、それぞれ熟読した上で競技に参加すること。

○第170条3 テイクオーバーゾーン

400mRの全て、800mRとメドレーリレーの1~2、2~3走のテイクオーバーゾーンが30mに。

⇒従来の加速ゾーンを含めた30mがテイクオーバーゾーンとなる(ブルーラインがゾーン入口)。競技場検定工事までの間はトラックのラインが修正されないため、テープ等で表示される。なお、この修改正に伴い、全てのバトンパスにおいてゾーンの中から走り出さなくてはならない。

○第170条11 リレーチームの編成

オーダーは締め切り前であっても一度提出したらその後の変更は禁止。(例外として医務員の判断があれば変更可)

⇒なお、医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない(IAAFの運用に合わせた)。

○第180条17 試技時間

棒高跳を除いた4人以上または各競技者の最初の試技時間が1分⇒30秒に変更。

⇒試技時間の表は以下の通り。

《単独種目》				《混成競技》			
残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他	残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	30秒	1分	30秒	4人以上※	30秒	1分	30秒
2~3人	1分30秒	2分	1分	2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—	1人または連続試技	2分	3分	2分
連続試技	2分	3分	2分	※4人以上または各競技者の最初の試技			

走高跳・棒高跳で優勝が決まり大会記録等に挑戦する場合は、定められた制限時間を1分延長。

⇒日本記録、県記録、大会記録等の場合が対象。標準記録への挑戦は対象にならない。

○第181条4 バーの上げ幅

残りの競技者が2人以上でも全員の同意があれば大会記録を超える高さにバーを上げることが可能。

⇒競技者が最後の一人になり優勝が決まるまでは「(a) バーは走高跳で2cm、棒高跳で5cmより少ない上げ方をしてはならない (b) またバーの上げ幅を増してはならない」が基本になるが、2人以上でも全員の同意があれば、この基本を適用せずに大会記録等(従来は日本記録のみ)に挑戦可能となる。

○第187条14(b) 投てき競技(回転系)の無効試技の判定

最初の回転動作を行う際に、後方のサークル外側の地面に足が触れる程度であれば無効としない。

⇒サークルに入り最初の回転動作を行う際に、サークルの両側白線より完全に後方のサークルの外側の地面に足が触れても、推進力を得ることがなければ(地面に触れる程度であれば)無効としない。

○第187条15 投てき競技 試技の中断

一度始めた試技を中断する際、競技者がサークルや助走路から出てもよい。

⇒ただし、「各投てき競技の規則に反しない限り」の条件があるので注意が必要である。

(裏面に続く)



○第 200 条 混成競技

競技者が同じ得点を取った場合は、同成績とする。

⇒従来 同得点だった場合、より多くの得点を取った種目が多い者を上位としたが、同成績に。

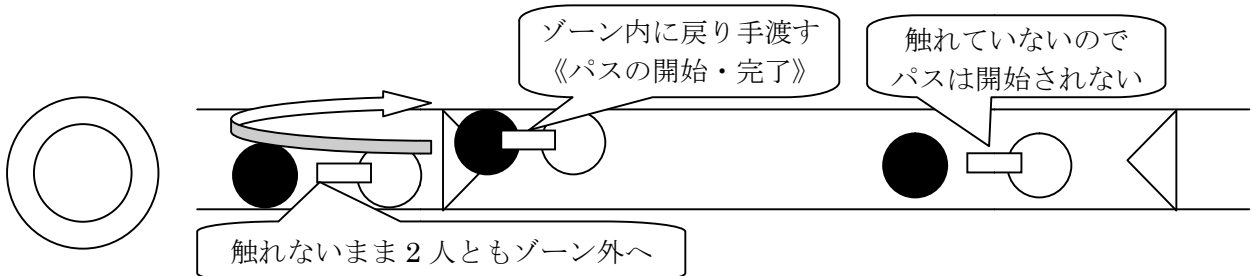
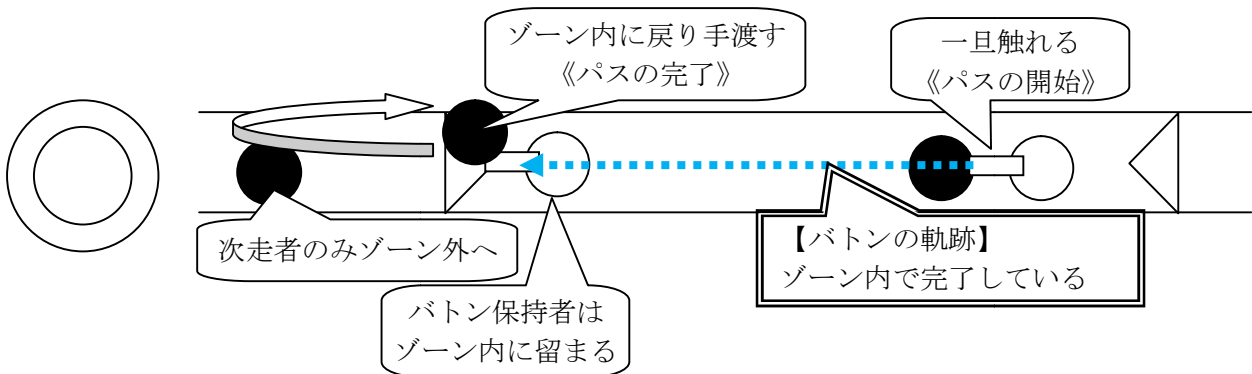
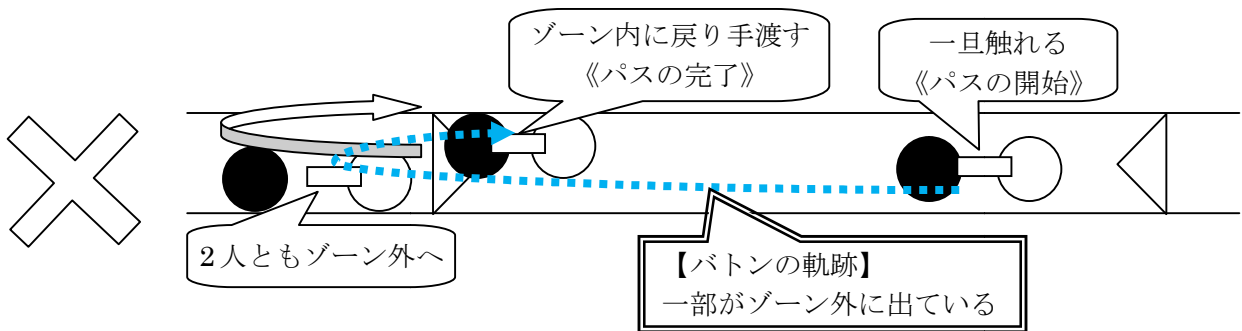
《参考：ルール解釈の確認》

○第 170 条 7 リレーにおけるバトンの受け渡し

バトンのパスは、受け取る競技者にバトンが触れた時点に始まり、受け取る競技者の手の中に完全に渡り、唯一のバトン保持者となった瞬間に成立する。それはあくまでもテイクオーバーゾーン内でのバトンの位置のみが決定的なものであり、競技者の身体的位置ではない。

⇒この条文より、「触れた時点」「唯一の保持者になった瞬間」の2点が強調されてきたが、この2点の間もバトンパスの最中と言える。したがって、この最中にテイクオーバーゾーン外に出てしまった場合も、失格の対象となるので注意が必要である。

例えば、テイクオーバーゾーン内で一旦次走者にバトンが触れたが、完全にパスが行われないうまま2人ともゾーン外に出てしまい、ゾーン内に戻ってパスを完了させた場合、今までの解釈だと「触れた時点」「唯一の保持者になった瞬間」がゾーン内であるので失格の判定にならなかったが、バトンパスの最中（開始～完了の間）にバトンがゾーン外に出ているので、失格の対象となる。



詳細については、審判講習会資料もしくは 2018 年度版陸上競技ルールブックを参照されたい。

文責：青柳 智之（日本陸上競技連盟競技運営委員・JTO／長野陸上競技協会競技運営委員長）

